

令和8年度 第1回葉山町障害者福祉計画策定委員会

日時：令和8年6月10日（水）

11時00分～12時00分

場所：葉山町保育園・教育総合センター

2階 研修室・会議室1

1 あいさつ

事務局：定刻になりましたので、ただ今より「令和8年度 第1回葉山町障害者福祉計画策定委員会」を開催いたします。私、福祉課長の内田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。皆様におかれましては、策定委員をお引き受けいただき、また、ご多用の中、お集りいただきまして、誠にありがとうございます。それでははじめに、山梨崇仁町長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

山梨町長：（挨拶）

事務局：（資料確認）

2 委員紹介

事務局：本日は第1回目の委員会でございますので、一言ずつご挨拶をお願いいたします。

（委員挨拶）

種田委員、大熊委員、折井委員、渡辺委員、新井委員、荻原委員、菊池委員、柿本委員、中野委員、澤村委員、山本委員、富樫委員、金高委員

（欠席委員報告）

事務局：ありがとうございました。なお、本日は「手をつなぐ育成会」の有川委員、および「町民生委員・児童委員協議会」の鹿嶋委員がご欠席となっております。続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

（事務局挨拶）

福祉部佐野部長、福祉課内田課長、河地係長、高貝保健師、山崎主事捕、子ども育成課守谷課長、柏木課長補佐、田村係長

コンサル：株式会社名豊大川次長出席

3 計画策定委員会について

(委員会規則)

事務局：委員任期 令和9年3月31日まで

委員長と副委員長を 委員の互選により定める

委員会は委員長が招集し、議長を務める

委員の過半数以上の出席により会議開催が成立する

(会議の成立に対する報告)

本日は、出席委員13名、欠席2名により本日の会議は成立していることを報告いたします。

4 委員長及び副委員長の選任について

(委員長選出)

委員長：県立保健福祉大学 種田委員

副委員長：社会福祉法人 湘南の風 支援センター風 新井委員

種田委員長：(挨拶)

事務局：(会議の公開、非公開について説明)

傍聴希望なし

5 議題

(1) 現行の葉山町障害者福祉計画について

種田委員長：(1) 「現行の葉山町障害者福祉計画について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局：(冊子に基づいて説明)

種田委員長：今の説明に対して何かご質問やご意見はありますか。前の委員会に関わられていた菊池委員から、今回の委員会に向けての思いなど何かありませんか。

菊池委員：ご指名ありがとうございます。前回計画では医学モデルから社会モデルへという障害感の変化を明確にし、個人の問題から、社会環境を踏まえた社会との相互関係の中での「個人差」として、この計画にも反映されたことが大きな成果でした。そのため、福祉関係者以外にも住民全員に関係することとして、位置付けられたことで大きく進展したと思います。また、基本目標に関しては、誰もが理解しやすいように難しい言葉を使わないという標語を掲げて、馴染みの深いものになったと思います。一方で、事業所においてこの福祉計画をいかに意識していくのかについてはまだ課題があり、「新しい事業展開の際に

福祉計画を元に考えているのかどうか」などといった反省する部分もあり、国の制度も変更されている時期でもありますから、国の制度の変更点や改正点を今期の計画内で表記できれば、計画の精度があがると思います。

種田委員長：制度の改定に向けたご意見もありがとうございます。萩原委員ご意見いただけますでしょうか。

萩原委員：菊池委員のおっしゃるように、障害当事者の障害というものが個人に起因するものではなく、環境との相互作用で本人がなんらかの生きづらさや、生活のしづらさを感じているということが示されたことは、前回計画の中での成果ではないかと思っています。サービスの実績値と提供量を把握しながら、ニーズに対して供給できているのか、課題はないのかを整理して事業所に対しても示すことができるよう、今期計画に反映できるといいと思います。

種田委員長：もうひとかた、柿本委員いかがでしょうか。

柿本委員：子どもの居場所作りや子どもの将来に向けてなどを考えながら計画に携わらせていただきましたが、若干、机上の空論のように感じます。障害を持っているお子さんの保護者は健常児との交流を望んで町内に出て行きますが、学童での交流も子どもの居場所づくりも、計画の中では事業として挙げられていますが実現していませんので、自分自身も見直して計画作りに参加できればと思っています。

種田委員長：前期計画では 障害への取り組みを大きく盛り込んだために今年度も反映されていくものが多々あるかと思っていますので、忌憚のないご意見をいただきたいです。

また前回計画が、計画で終わってしまっている、机上の空論というご意見に対しては計画だけで終わってしまわないように意見交換しながら考えていけるといいと思います。

（２）次期計画策定スケジュールについて

種田委員長：では、「次期計画策定スケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

事務局：スケジュールの説明

種田委員長：事務局の説明に対してご意見やご質問はありませんか。とくに無ければ、このスケジュールで進めてもよろしいですか。

（異議なし）

（３）アンケートについて

種田委員長：（３）「アンケートについて」事務局より説明をお願いします。

事務局：アンケートについての報告

種田委員長：事務局の説明に対してご意見やご質問はありませんか。

コンサル：株式会社名豊の大川です。私の方からアンケート調査の分析の説明をさせていただきます。

（調査分析の説明）

種田委員長：事務局と名豊さんから説明がありましたが、何かご意見や確認しておきたいことなどはありますか。

回収率は前回調査と同じくらいの割合ですが、今回はインターネットでも回答できるところが大きな変化かもしれません。インターネットでの回答率はどうでしたか。

事務局：WEBでの回答比率を計算したところ、当事者の方が23%、住民の方が42%でした。WEBでの回答比率は住民の方が高い状況でした。

種田委員長：分量の多い調査でしたが、半数近くの方から回答が得られているということです。

他に何かありますか、それでは本日の議題は以上となります。次回以降は具体的な計画の内容に入っていきます。町の障害福祉に関してのことですので、それぞれのお立場で様々なご意見をいただきながら、より良いものを作っていければと思います。では、事務局にお返しいたします。

事務局：本日の内容は議事録にして町のHPで掲載します。議事録は要約ですので、ご自身の発言した内容と少しニュアンスが違うかと思います。掲載前に皆様に配布いたしますので、内容のご確認をお願いしたいと思います。

6 その他

では、議題6のその他ですが、委員の皆様から何かありますか。

事務局：（連絡事項）

事務局：短い時間でしたが、貴重なご意見を賜りありがとうございました。

これをもって、令和8年度 第1回葉山町障害者福祉計画策定委員会を閉会いたします。